

「湘南ゴールドヒラメ」奇形個体を有効活用 マゼラン湘南佐島で湘南ゴールドヒラメのフライ提供

昨年より、神奈川県立海洋科学高等学校では、県の名産である「湘南ゴールド」をえさに使用したフルーツ魚「湘南ゴールドヒラメ」の開発に取り組んでいる。同校水産資源研究会がクラブ活動の一環でえさ作りを行い、JA全農かながわは湘南ゴールド15kgの提供に協力した。

同校では、生物環境科がヒラメの種苗生産に取り組んでいるが、その過程で白化個体や右ヒラメといった海に放流できない個体が生まれる。それらの活用方法としてフルーツ魚の作成に生徒が着目し、地元の特産品を使用し付加価値を高めたいという想いから、えさの原料に湘南ゴールドを活用することを考案した。

「湘南ゴールドヒラメ」の取り組み2年目となる今年度は、「地域の皆さまに召し上がっていただくこと」を目標とし、近隣の飲食店に協力を募った。えさ作りでは水中で分散しにくい硬さの調整に試行錯誤。湘南ゴールドの風味を上げるため、出荷前のえさに混ぜる湘南ゴールドの割合を増やした。

その結果、11月1日からは、横須賀市の有料老人ホーム「マゼラン湘南佐島」の食堂で、コラボメニュー「湘南ゴールドヒラメのフライ&オリジナルタルタルソース

」の提供が実現した。食堂は、交流の場として一般開放している。200食限定での販売で、来店客からは「かんきつの風味がして爽やか」「身がふわふわでおいしい」と好評だ。特に香りの強いえんがわの部分のフライに入れることで、熱を加えると湘南ゴールドの風味が飛んでしまう課題を解決した。

同校水産資源研究会の1年生鈴木太一さんは「今回、レストランで湘南ゴールドヒラメのメニューを提供していただいたことにより、この取り組みをいろいろな人に知ってもらえてうれしい。今後も、ヒラメの開発・研究を続けていきたい」と取り組みへの感想を語った。



長井海洋実習場での湘南ゴールドヒラメ水揚げの様子



湘南ゴールドヒラメ&オリジナルタルタルソース

令和6年度 かながわ農林水産品マッチング商談会 神奈川県産品PRで地産地消・農家所得向上を目指す

10月31日、全農かながわは神奈川県と連携して「令和6年度 かながわ農林水産品マッチング商談会」を、横浜市の開港記念会館で開催した。本商談会は、新規取引先や品目拡大による生産者所得の向上および情報交換を行う機会の提供を目的としている。生産者やJA、全農かながわなど32団体が出展し、県産の農畜産物や加工品などを小売業者や宿泊団体にアピールした。

当日は、小売業者やホテル、通販業者など31団体が来場した。会場では、各展示ブースにて出展者が資料・サンプルを用いて、来場者に商品の説明をした。試飲・試食も実施され、味わいや特長を確かめる場面が見られた。

来場者は「神奈川県のおもろい商品を見ることが

できて有意義だと感じた。青果物に加え加工品もあり、多様な業態の来場者に対応していると思う。良い情報交換の機会となった」と感想を語った。

商談ブースでは、事前に予約を受け付け、90件ほど商談を行った。飛び込みの商談もみられ、来場者は、商品の特徴や旬の時期などを質問し、情報交換をした。

出展者の全農かながわ生活課の担当者は「普段あまり接点のない業態の担当者と商談することができた。同じ神奈川県を拠点とする企業同士、今後の取引を発展させたいと思う」と話した。



商品の質問をする来場者

総合コンサルティング機能の向上を目指す テナント推進研修会実施

施設部は11月1日、「令和6年度 テナント推進研修会」を横浜市の神奈川県中小企業センタービルで開催した。本研修会は、資産管理担当役員を対象に、総合コンサルティング機能の向上を目的に毎年開催されており、今回はJA・JA子会社職員を中心に92人が参加した。

研修会は二部制で、一部では、同部の顧問弁護士である草薙一郎氏が法務研修を行い、二部では、テナント業者5社が業界動向、事業概要ならびに神奈川県内の出店動向などについて説明した。

施設部長は「建築を取り巻く情勢は、建築資材の高騰、人手不足を原因とした建築費の上昇に加え、人口減少による空き家の増加など厳しい状況が続いている。本研修会を通じて、土地の有効活用メニューの幅を広げ、組合員への相談機能の強化・推進活動・企画提案につなげていきたい」と話した。

施設部長は「建築を取り巻く情勢は、建築資材の高騰、人手不足を原因とした建築費の上昇に加え、人口減少による空き家の増加など厳しい状況が続いている。本研修会を通じて、土地の有効活用メニューの幅を広げ、組合員への相談機能の強化・推進活動・企画提案につなげていきたい」と話した。



テナント賃貸借契約に関する事例研修を行う草薙一郎氏

JA農機セールスコンクール表彰式開催

11月18日、農機・自動車課は「JA農機セールスコンクール表彰式」を全農かながわ田村事務所内で開催した。同表彰式は、JA販売担当者の士気を高め、農機の販売促進を図る目的で毎年行っており、セールスコンクール実施期間（令和6年6月1日～9月30日）において、JAグループ神奈川推奨型式および共同購入トラクターの販売実績が特に優秀だった農機センターおよび担当者を表彰した。

優秀賞に輝いたJA湘南営農経済部購買課の石渡修さんは「農協全体、皆さまの支えがあってこの賞をいただいた。また来年も受賞できるように頑張っていきたい」と述べた。

同日は「農機担当者会議」「農機重点銘柄研修会」も開催した。冬の農機特別推進期間(令和6年12月1日～令和7年2月15日)に向けた販売対策の確認や、5社のメーカー担当者による各種新製品の特徴・性能に関する製品説明が行われた。



岸山毅部長と優秀賞を受賞した3人
左側から岸山毅部長、石渡修さん、川口強さん、
佐野直樹課長（小宮幹生さん代理）

JA農機セールスコンクール表彰結果一覧（敬称略）

JA農機センター名		氏名
湘南農協 営農経済部 購買課（平塚）		石渡 修
よこすか葉山農協 経済部 利用センター		石野 宏樹
湘南農協 営農経済部 購買課（伊勢原）		植松 哲也
さがみ農協 組織経済部 農機総合課（海老名）		川口 強
西部農機・自動車センター		小宮 幹生

JA農機センター名		氏名
西部農機・自動車センター		小泉 湧汰
湘南農協 営農経済部 購買課（伊勢原）		二宮 智幸
さがみ農協 組織経済部 農機総合課（茅ヶ崎）		森 聡一郎

JA農機センター名		内容
湘南農協 営農経済部 購買課（伊勢原）		伸率1位
セレス川崎農協 営農経済部 購買推進課		伸率2位
相模原市農協 営農経済部 購買課		ポイント上位

JA農機センター名		内容
湘南農協 営農経済部 購買課（平塚）		伸率1位
さがみ農協 海老名農機センター		伸率2位
西部農機・自動車センター		ポイント上位

キャンペーンで国産農畜産物を応援 (株)ジェイエーアメニティーハウスより

株式会社ジェイエーアメニティーハウスは、農産物を食べて応援する「国産農畜産物応援プロジェクト」の一環として、12月1日から3月20日までプレゼントキャンペーンを実施しています。

- (1) JAタウンギフトカードでおうちグルメを楽しもう！キャンペーン
JAグループ神奈川の賃貸仲介窓口で当社管理物件をお申し込みされ、ご成約いただいた方の中から、抽選で15名様に「JAタウンギフトカード5,000円分とバルミューダ電気ケトル」をプレゼントいたします。
- (2) JA商品詰め合わせプレゼントキャンペーン
当社管理物件をお申し込みされ、ご成約いただいた方の中から、抽選で250名様に「JA商品詰め合わせ」をプレゼントいたします。応募方法の詳細は、JAホームネット特設ページをご覧ください。

